



—毎月第3水曜日・水曜行動—

日本軍「慰安婦」問題の解決を一日も早く!

戦時日本軍「慰安婦」問題について、河野官房長官談話(1993年8月)を発表してから30年ちかくなります。しかし問題は今なお解決していません。政府は2015年に韓国政府とともに「日韓合意」を公表。しかし、実際には問題は解決していません。被害女性の多くは無念の思いを抱いたまま他界され、名乗り出た女性たちも高齢となり「このままでは死にきれない」の声があがっています。

「慰安婦」問題は戦時に、日本軍兵士によって行われた女性に対する人権侵害事件です。被害女性は韓国だけでなく、中国、フィリピン、インドネシアなどアジア諸国やヨーロッパ諸国にまたがっており、政府間の外交交渉だけでは解決しません。

真の解決のためには、日本政府が加害の真相を究明し、事実を認め、①被害女性たちに誠意ある態度で謝罪し、賠償を行なうこと。②歴史を隠さず事実を明らかにし、次世代に継承すること、これが不可欠です。

日本政府として、この問題は外交交渉ですべて解決したと公言し、被害女性に手紙を書く気もないとか、少女像を撤去せよ、教科書から「慰安婦」問題を削除しよう—などと言っている限り「問題」は解決にむかうことはできないのではないのでしょうか。

人権問題の解決は、すでに国際的な基準(被害者中心アプローチ)が確立されており、だから被害者抜きの交渉でなく、被害者への誠意ある対応を打ち出すことが望まれます。一日も早く日本軍「慰安婦」問題の解決を!

次回の水曜行動は

とき **9月21日(水) 正午~1時**
ところ **金山総合駅南口**

共同主催： **新日本婦人の会愛知県本部**
愛知・日本軍「慰安婦」問題解決すすめる会

(連絡先：FAX 052-883-6972 090-7033-3824)

協賛団体： **アジア・太平洋平和文化フォーラム**

愛知・日本軍「慰安婦」問題解決すすめる会

共同代表：池住義憲 石川勇吉 大脇雅子 小出隆司 長谷川一裕
原山恵子 長峯信彦 平山良平 水野磯子 安川寿之輔
山田清文 西本 伸 吉田 豊 加藤 剛